

HEADLINE

市民の皆さまにとって、
もっと身近に! もっと心強く!
そんな病院をめざします。



**社会医療法人ベガスとともに、
市民の皆さまのご期待にお応えします。**

これからの私たちのご期待ください。

病院では、これまで医師数や病床数の増強で、救急患者さま、紹介患者さまを充分に受けきることができなくなりがちでしたが、それを正し、もっと地域の皆さまのご期待に対応するために、私たち自身の手と心で患者さまをいこうと考えています。その一つとして、社会医療法人ベガスと事業連携、福島県救急病院（地域医療支援病院）を中心に救急医療、急性期医療、回復期医療、在宅医療など、病院との連携のなかで、ベガスグループ全体によるバリエーション豊かな医療を一つ一つの医療でつから、少し間隔をあけておもしろいと思えます。皆さまにどうすぐ理解のうえ、思い通りに支えてくださいますようお願いいたします。

泉大津市立病院
〒595-0027 大阪府泉大津市下条町 16 番 1 号
TEL 0725-32-5622 FAX 0725-32-8056

社会医療法人ベガサス
〒100-0205 大田区青木町2-1-1
TEL 03-2660-8680 FAX 03-2660-8681

ベガス法人本部をはじめ馬場記念病院の職員らが、泉大津市立病院にて医療提供の仕組みづくり、実際のオペレーションシステムの構築などをサポートしています。



ベガサスグループは5月1日、堺市北区百舌鳥梅町に7カ所目の訪問看護ステーション「ベガサス訪問看護ステーションなかもす」をオープンしました。対象となる堺市北区での訪問看護事業はグループとしては初めて。今後は、診療所の先生方や介護・福祉事業所の方々と「顔の見える関係」を築きながら、24時間365日の訪問看護サービスを提供します。地域の皆さまが、より質の高い療養生活を送れるよう、在宅医療・介護サービスのさらなる向上に全力を注いでいきます。

ベガサスの訪問看護ステーションでは、地域の診療所や病院のかかりつけ医師、在宅サービス機関と連携し、ご利用者に最も適切な訪問看護を提供しています。かかりつけ医師の指示に基づき、退院後の継続的な病状管理が必要な方への高度な看護から、健康状態のチェック、床ずれ防止や処置、入浴介助や栄養管理など、幅広く対応します。また、利用者やご家族の心理的なサポートも「訪問看護」と考え、在宅療養で生じるさまざまな問題のご相談にも応じています。なお、全ステーションに、深夜の突然の急変や緊急時に速やかに対応できるよう、24時間体制の連絡・相談窓口を設けています。万一の場合も、馬場記念病院をはじめとするベガサスグループの後方支援のもと、高度な医療・看護・検査機能で在宅療養を支援。必要なときに適切なサービスをご利用いただけます。

お問い合わせ
住所 大阪府堺市北区
百舌鳥梅町3-56-1
電話番号 075-240-0009

泉大津市立病院の
病院改革に、ヘガサスは
全力を注いでいます。



社会医療法人ベガサスは、平成24年4月より泉大津市立病院の経営参与を果たしています。

これは泉大津市議会でのご期待にお応えできる病院となるよう、病院改革の先導者としてベガサスの関与がスタートしました。

現在は、ベガサスの理事長・馬場武彦が経営統括管理監という立場から、これまでベガサス自身が堺市を中心に、地域の皆さまと築き上げてきた医療・病院のあり方、地域連携のあり方などを市立病院の経営陣に指導。また、泉大津市立病院と泉

います。しかしながら、医師数や病床数の関係で、救急患者さまや診療所からの紹介患者さまを、充分に受けできない場合があります。こうしたことを是正し、もつと地域から

Report *1

社会医療法人として、
ペガサスは、公立病院の経営に
参与しています。

Report *2

在宅療養の充実をめざし、
7カ所目の
訪問看護ステーション開設。

「ペガサス訪問看護
ステーション」なかもず
が堺市北区に誕生。

24時間体制で
在宅療養を
サポートします。

ペガサスグループは5月1日、堺市

ペガサスの訪問看護ステーションで

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成24年8月1日現在

	診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土	
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (内科)	難波雅司 (循環器)	白井直哉 (循環器)	坂本常守 (内科)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週／第2・4週 (ともに循環器)
			2診	平山道彦 (循環器)	永田光里 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	栩野吉弘 (呼吸器)	中西弘毅 (循環器)	栩野吉弘／玉垣学也 第1・3・5週／第2・4週 (ともに呼吸器)
		消化器科	1診	原 順一	河内屋友宏	真下勝行	原 順一	平田直人	
			2診			鏑谷成弘			
		外科	1診	金原 功	埜村真也	豊川貴弘	金原 功	寺岡 均	福岡達成 第1・3週
			2診		寺岡 均	西野裕二	豊川貴弘 (胃ろう外来)		大平雅一 第2・4・5週
		脳神経 外科	1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			2診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明	
			3診	長岡慎太郎	上坂十四夫	松尾吉紘	松尾吉紘	上坂十四夫	
		(脳)神経 内科	1診	青松宏美	北口正孝	峯田春之	北口正孝	金田明子	濱田征宏
			2診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進／千本裕子 第1・3週／第2・4・5週	長谷川隆典	
			3診				平賀定一		
		整形外科	1診	釜野雅行	山北真也	釜野雅行	山本 研	山北真也	交替制
			2診	山本 研	岡垣健太郎	田中久夫	篠原良和	岡垣健太郎	交替制
			3診	田中久夫	岡田 貴		交替制		庄司恭之 第1または、第3週(育稚)
	形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英／矢野 基 交替制	
	午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 □□□□は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科 循環器科				山下 啓 (不整脈)			
						若山公作／交替制 第1・3・5週／第2・4週 (在宅酸素)			
		(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝	長谷川隆典 (頭痛外来)		
				池尻義隆 第2・4週					
				峯田春之の第1・3・5週 (睡眠時無呼吸外来)		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)			
		整形外科		山北真也			装具外来 (14:00～14:30)		
				岡垣健太郎(関節の外来)					
				装具外来(14:00～14:30)					
	泌尿器科		野澤昌弘		吉村一宏(診察) 清水信貴(検査)	野澤昌弘			
	消化器科			北田拓也 (肝臓病)					
	ヘガサクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德(第1・3・5週) 矢野 基(第2週) 岡田 貴(第4週)
2診			西野裕二	担当医	平賀定一	西野裕二	西野裕二	担当医	
夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00		1診	永田安德	担当医	矢野 基	担当医	南部泰孝		
		2診	担当医	矢野 基	担当医	担当医	永田安德		
ヘカサロヤルクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00		中林孝之	長谷川隆典	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	
	午後診		往診	往診	往診	往診	往診		
馬場満記念クリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診(総合外来)	久保俊彰 (漢方外来)	新田敦範	新田敦範	久保俊彰	千本 裕子	交替制	
		2診(専門外来)	担当医 (脳神経外科)		担当医 (脳神経外科)	山本喜英 (形成外科)	北口正孝 (脳)神経内科)	――	
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00		担当医	新田敦範	久保俊彰	新田敦範	担当医	――	



社会医療法人

ペガサス

ロイヤルリゾート石津

からのお知らせ

お食事会で春の気分を味わいました

サービス付き高齢者向け専用住宅ペガサスロイヤルリゾート石津では、4月22日に春のお食事会を開催。入居者とそのご家族の約50名が、彩り美しくおいしいお弁当(デザート・桜湯付き)を召し上がりながら、おしゃべりに花を咲かせました。食後は、三味線の先生と生徒であるご入居者の演奏会。歌詞カード配り、曲に合わせて楽しく歌う参加者の姿も見られました。ペガサスロイヤルリゾート石津では、今後もこうした季節の行事でご入居者同士の親睦も深めていきます。



ご存じですか!

ペガサス脳卒中センター ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、脳神経外科の医師とコメディカルとのブレインチームによる「脳卒中センター」、また、外科と消化器科とのチームによる「消化器センター」を設置し、高度な専門治療の提供を行っています。

8月のペガサスセミナーは、

脱腸のおはなし

脱腸(鼠径ヘルニア)の原因や、痛みの少ない内視鏡治療を中心とした治療方法について外科医師より詳しくお話しいたします。

講師：北山紀州 馬場記念病院 外科 医師

日時：8月30日(木) 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階ロビー

8月の介護支援セミナーは、

在宅生活をめざそう! ～心配を安心に変える相談員～

ペルセウスでは入居者様の在宅復帰に向けて、さまざまな取り組みを行っています。今回は医療ソーシャルワーカーの役割や、法人内の病院や施設をご利用されている方々への在宅生活に向けての支援と、地域の方々の在宅介護を支える取り組みについて、お話しさせていただきます。

講師：高井麻美・石川卓哉・山本恵里

日時：8月21日(火) 午後3時～

場所：介護療養型老人保健施設ペルセウス 3階食堂

法人本部からお伝えしたいことがあります。

岡田玲一郎先生による新人研修を開催。 82名の新人職員が意欲的に取り組みました。

6月27、28、29日、今年度入職の82名を対象に新人研修プログラムを行いました。この新人研修は、社会医療研究所所長の岡田玲一郎先生主導のもと、毎年開催されています。岡田先生は、半世紀にわたり海外や日本の医療を見続け、病院経営の改善や職員の人材育成に取り組んできました。ペガサスグループでは古くから、新人・中堅・管理職を対象に、岡田先生による研修を実施してきました。今回の研修では、「福祉と医療の現状と課題」と題した岡田先生の講演の後、参加者がグループに分かれ「相乗効果」・「情報共有」・「コンセンサス(合意)」・「コミュニケーションとリーダーシップ」をテーマに互いに意見を交わしました。新入職員たちは「医療の最前線の情報が聞けて、勉強になりました」、「グループでの話し合いやゲーム形式など、さまざまな手法を取り入れた研修は、とてもためになりました」と感想を述べ、内容の濃い有意義な時間となりました。



「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン!」 開催予定



開催日 8月14日(火)
21日(火)・28日(土)

受付時間 12:30～



※詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。http://www.pegasus.or.jp/

馬場記念病院からのお知らせ

● 「認知症かも?」と思ったらご相談ください ●

「認知症もの忘れ無料相談会」を行います。認知症は早期に発見し、治療に繋げることが大切です。「認知症なのか単なるもの忘れなのか判断がつかない」「どこに相談していいのかわからない」等でお悩みの、ご本人およびご家族の方は、ぜひこの機会にご相談ください。

認知症相談の経験豊富な臨床心理士による無料の相談会です。

※事前にご予約ください。また、医師による診察ではありません。

日程 8月10日(金)、15日(水)、23日(木)

予約・問い合わせ

馬場記念病院 地域医療支援室

TEL 072-265-9062

S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
22

臨床心理部

患者さま一人ひとりとじっくり
お話しして、「こころの悩み」を
解決するお手伝いをしています。

6名の臨床心理士が こころの問題に アプローチします。

臨床心理部では現在、6名の臨床心理士が勤務し、患者さまの「こころの悩み」を解決していくお手伝いをしています。臨床心理士とは、簡単に言うと臨床心理学をベースに、人の悩みを解決するための援助を行う心理学の専門家です。精神科医のように薬物治療を行うのではなく、患者さまからお話を聞いて、より良い解決方法を一緒に考えていくのが臨床心理士の役割です。具体的には、

入院患者さまの 心理的な援助を 行います。

心理テストを用いて、こころの状態や知能・認知機能を評価したり、「話し合い」を中心にしたカウンセリング(心理療法)を通じて、さまざまな患者さまの「こころの問題」にアプローチしています。

臨床心理部の業務には大きく分けて、入院患者さまのサポートと、外来患者さまのサポートがあります。

まず、入院患者さまについては、各診療科の主治医から依頼を受けて、病気やケガで気持ちが落ち込んでいる方にカウンセリングを行い、不安の原因を探ったり、精神科の治療が必要かどうか評価を行います。

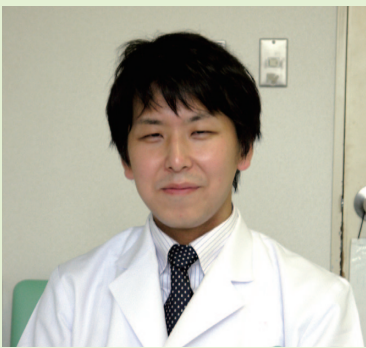
また、脳疾患や頭部外傷の後遺症として高次脳機能障害や認知症を抱える患者さまには、必要に応じて「認知リハビリテーション」を行っています。たとえば、記憶障害のある方には、記憶力を向上させるための反復訓練や、記憶力の低下を補うためにメモを使う訓練などを行い、おうちに帰っても安心して暮らしていけるようサポートしています。さらに、主治医の依頼がない場

こころの問題を 抱えた方を幅広く サポートしています。

合でも、入院中の患者さまとご家族を対象にした「こころの相談窓口」を設け、お困りのこと、ご心配なことにきめ細かくお応えしています。

外来患者さまに対しても、主治医の依頼を受けて心理的援助の必要な方に面接し、こころの状態を把握し、こころの問題が軽減されるようサポートしています。

また、それとは別に、「ペガサスメンタルサポートセンター(※)」を開設し、地域の方々を幅広くサポートしています。たとえば、学校・職場・家庭での人間関係の悩み、育児や子どもの発達に関すること、抑うつ気分やイライラ、不安や不眠、拒食や過食など、児童・思春期から成人、高齢者に至る幅広



い年齢層の悩みに対応。面談を重ねるなかで、お一人お一人のこころの深い部分まで理解するよう努め、解決の糸口を探っています。

「たたくない」という方、また、精神科にかかることに抵抗感のある方もいらっしゃると思います。そういう方でも、まずは私たちに相談ください。お話をじっくり聞いて、精神科の診療が必要かどうかも含めて一緒に考え、解決への道筋を見出していきたいと願っています。

認知症、もの忘れの 無料相談会を 開催しています。

※ペガサスメンタルサポートセンターのご利用は予約制で、1回50分・3000円(保険適用外)です。

今、臨床心理部で力を入れているのが、「認知症・もの忘れ相談会」の開催です。これは昨年からはじめた取り組みで、月に3回、無料で地域の方々のご相談にお応えするものです。たとえば、「最近もの忘れが多いけれど、これって認知症かしら...?」「家族の様子が最近おかしいんだけれど...」など、気がかりな問題について気軽に相談したいです。この相談会をきっかけに、当院の「もの忘れドック」を受けたり、適切な医療機関を受診されるケースもあり、医療へ繋げる橋渡しの役目も担っています。今後は、認知症と診断された後も、ご本人とご家族の悩みを、継続的に支援していきたいような体制を作っていきたいと考えています。

2011年度 業務実績	
入院患者のべ対応人数	4,324人※
外来患者のべ対応人数	2,189人※
老人保健施設集団療法のべ参加者数	4,513人
もの忘れドッグ	12人
相談会開催回数	37回
外来カウンセリング(ペガサスメンタルサポートセンター)	142回

※心理検査、心理カウンセリング、認知機能訓練、すべて含む。